

オープンファクトリー事業

近畿経済産業局
地域連携推進課
津田 哲史

そもそも、オープンファクトリーとは？



オープンファクトリーとは・・・



つくり手が活動し、
モノをつくりだしていく現場を公開し、
来場者に体験してもらう取組

引用:オープンファクトリーガイドブック2015

オープンファクトリー

Open Factory

見せる側
Sender

オープンファクトリーとは、Open（＝開く）とFactory（＝工場）の造語であり、一般的にイメージしやすいのは「工場見学」という言葉。

「付加価値を創り出す現場」

令和2年度調査※により、「工場見学」は見る側を主語とした言葉であり、「オープンファクトリー」は見せる側を主語とした言葉として整理。

※令和2年度 関西におけるオープンイノベーションを創出する地域一体型オープンファクトリーの発展可能性事例調査

見る側
Viewer

工場見学

Factory-Tour

地域一体型オープンファクトリーとは・・・

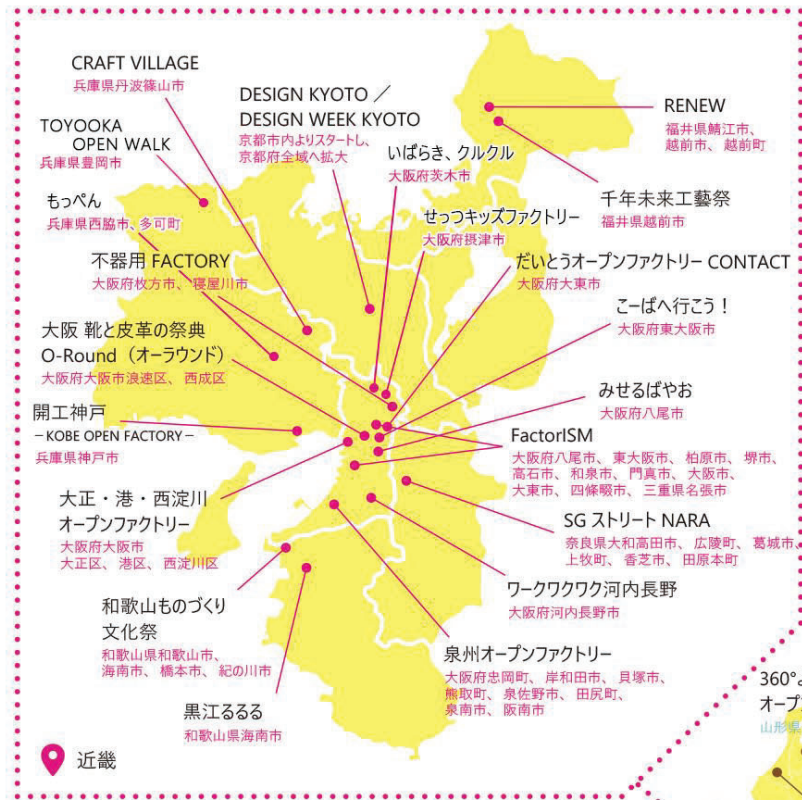


ものづくりに関わる中小企業や工芸品産地など、一定の産業集積がみられる地域を中心に、企業単独ではなく、地域内の企業等が面として集まり、生産現場を外部に公開したり、来場者にもものづくりを体験してもらう取組

引用:KANSAI OPEN FACTORY REPORT rec.2021

地域一体型オープンファクトリーってどれくらいあるの？





中国 つやまエリアオープンファクトリー
岡山県津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町

瀬戸内ファクトリービュー
広島県府中市、福山市

九州 NEXTRAD
佐賀県 伊万里市周辺、西松浦郡有田町周辺

諫早工場博
長崎県諫早市

日田ものづくり探検隊
大分県日田市

えひめさんさん物語
愛媛県新居浜市、西条市、四国中央市

来て見てみい、とくしま。
徳島県徳島市

こもガク
三重県三重郡菟野町

オープンファクトリー CRASSO
香川県東部地域 (東かがわ市、さぬき市、三木町)

はんだオープンファクトリー
愛知県半田市

ひつじサミット尾州
愛知県一宮市、愛知県津島市、岐阜県羽島市を中心とする尾州エリア

北海道

Meet up Furniture Asahikawa (あさひかわデザインウィーク)
北海道旭川市、東川町、東神楽町、当麻町、美瑛町

遠野しごと展
岩手県遠野市

OPEN FACTORY KORIYAMA
福島県郡山市

すかがわ TEC ツアーズ
福島県須賀川市

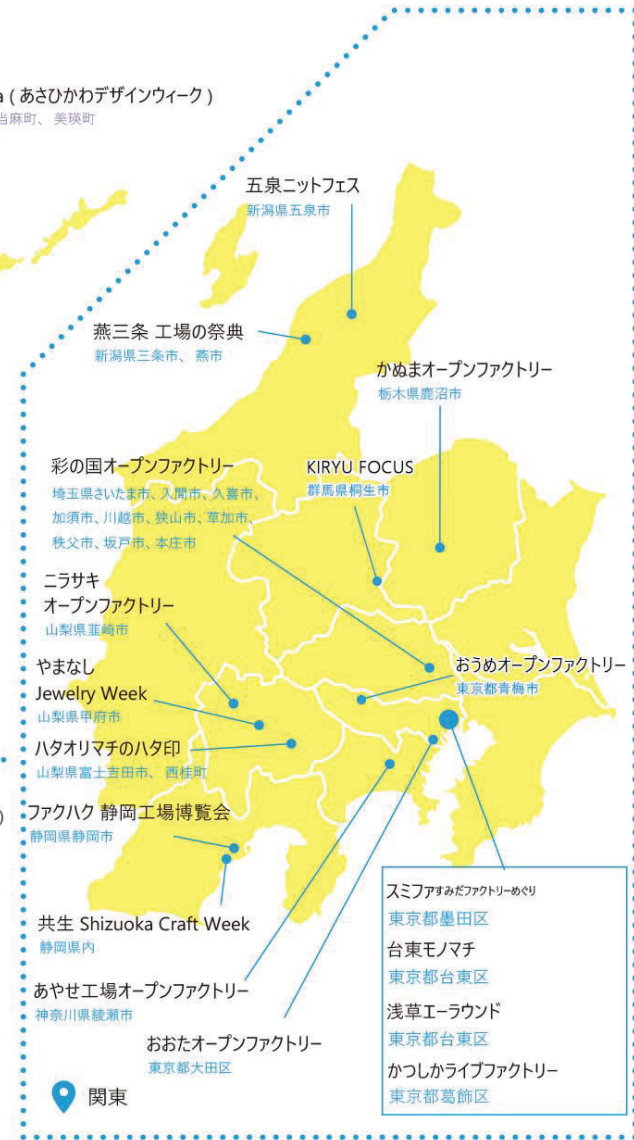
市場街 (高岡クラフト市場街)
富山県高岡市

ヨヨイ!!!
長野県塩尻市

GEMBA モノヅクリエキスポ
石川県小松市

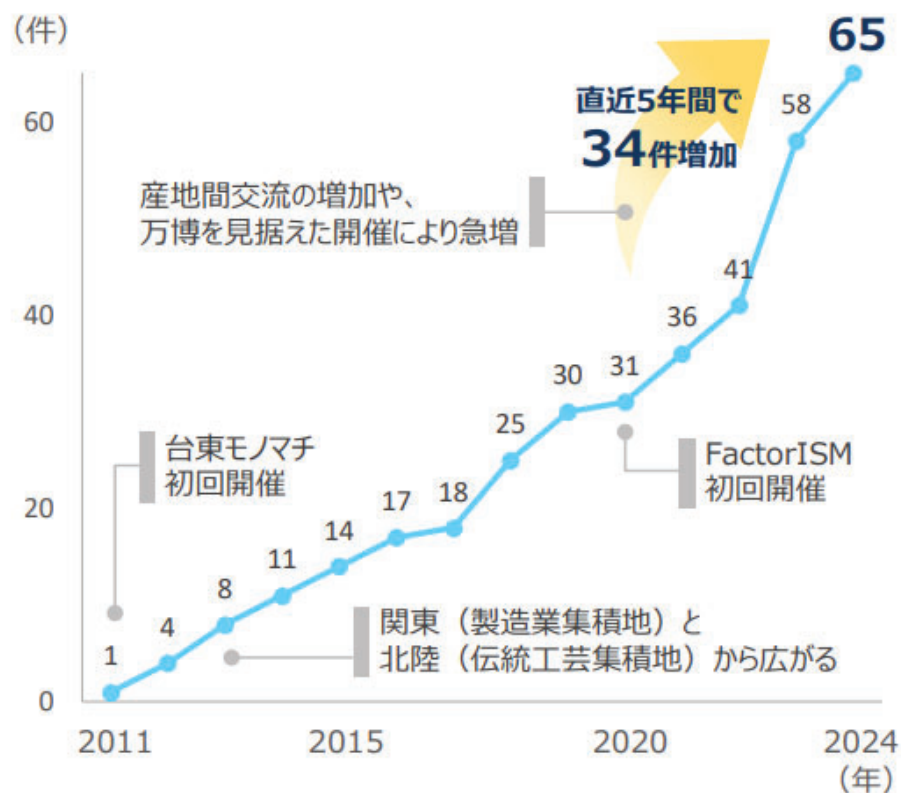
中部

関の工場参観日
岐阜県関市

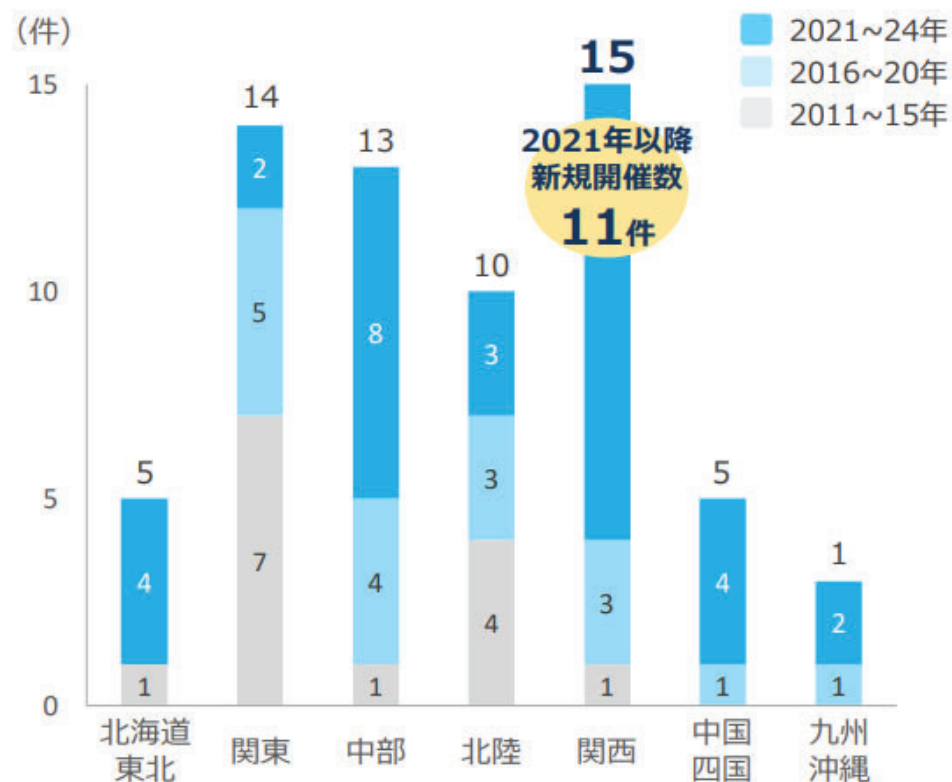


・全国の地域一体型オープンファクトリーの潮流について

地域一体型オープンファクトリーの累積開催数の推移※1,2



エリア別初回開催年別地域一体型オープンファクトリー開催数※1



日本政策投資銀行レポート「地域一体型オープンファクトリーの可能性～地場産業の新たなビジネスチャンスの創出と持続可能な発展～」より引用
<https://www.dbj.jp/upload/investigate/docs/781dbbfc2b91ebc1b967cb450c9c532d.pdf>

<https://youtu.be/4LYjIMgujhE>



https://youtu.be/E3Vz5b_8Mfw



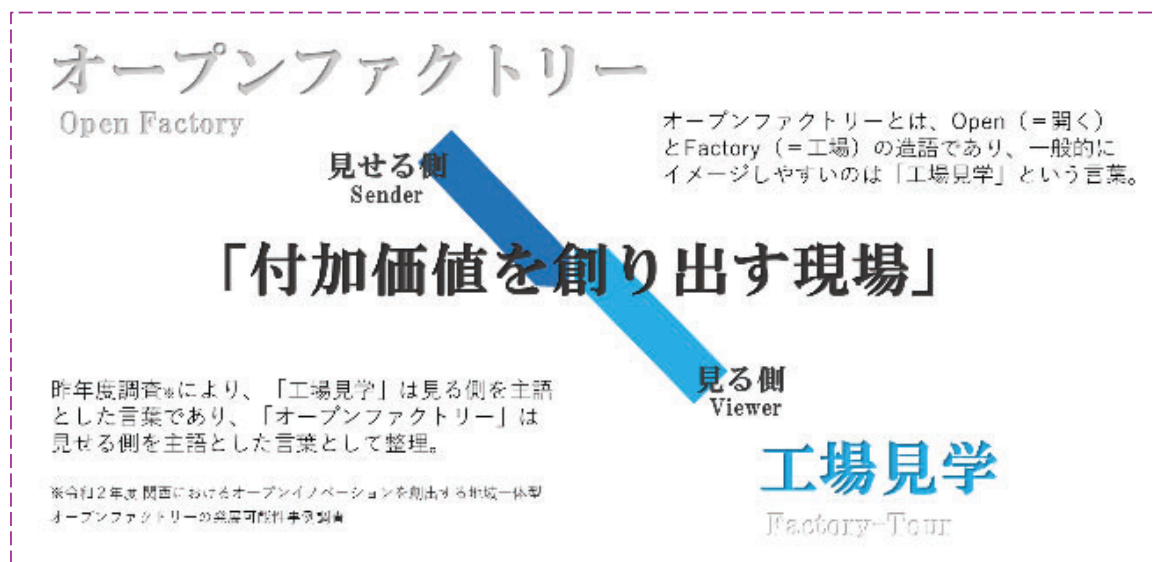
FactorSM

アトツギたちの文化祭

国が行っている地域一体型オープンファクトリーとの協働



・近畿経済産業局の取組



・企業が社員一丸となって「見せる」ことに取り組むことから、社内人材同士での「越境」が生まれ、訪れる方々との交流により商流を越えた「越境」が生まれる。

・『地域一体型』で取り組むことで、業種・地域の「越境」が生まれ、企業、そして地域としてのイノベーションを創発する「手法」として注目されている。

経済産業局が行っている3つのアクション

要素化

・レポート・報告書・冊子



可視化

・冊子・MAP

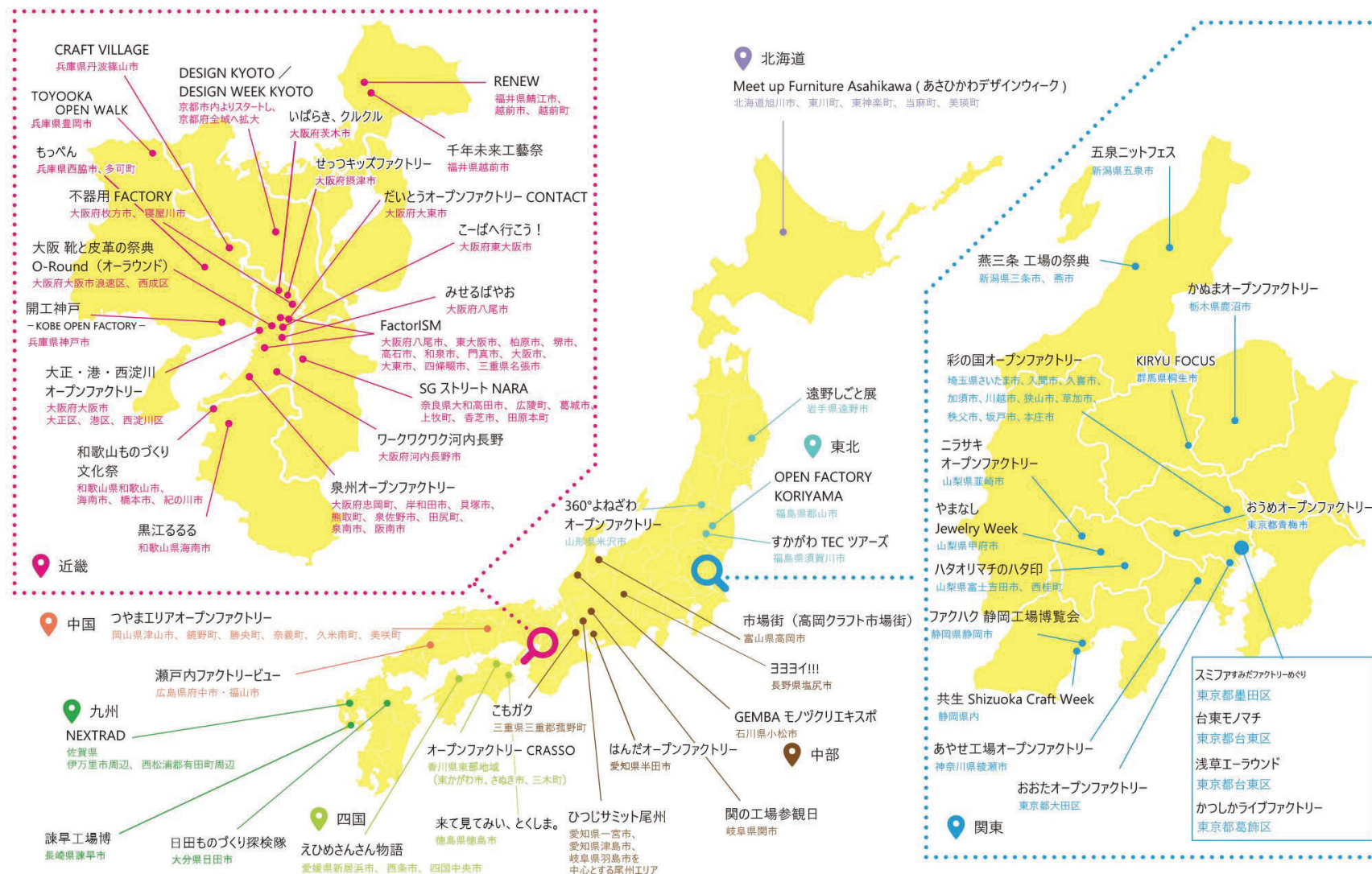


活性化

・フォーラム・研究会



・近畿経済産業局の取組（可視化）



・近畿経済産業局の取組（可視化）

2020年～
大阪府八尾市、東大阪市、柏原市、堺市、高石市、和泉市、門真市、大田市

FactorISM




CORE VALUE

こうばはまちのエンターテインメント

EVENT DATA

開催年：2020年
開催回数：3回
開催期間：例年10月頃/4日間程度
参加企業：60社
来訪者数：9,000人以上（リアル参加者）
主催：まちのこうばうぶ（FactorISM実行委員会）

FEATURES

FactorISM アトツギたちの文化祭

「FactorISM（ファクトリズム）」は、「こうばはまちのエンターテインメント」を合言葉に、参加企業と来場者、地域一帯でつくるオープンファクトリーイベントである。ものづくりの現場を公開し、世界に誇る日本のものづくりを五感で体験、体感してもらう文化祭のようなイベントである。

3日目となる2022年は「無境」をテーマに、参加企業と地域が連携して開催された。なお、FactorISM（ファクトリズム）は、Factory＝こうば、ISM＝土壌・土質、Tourism＝観光を組み合わせた造語である。

FUTURE

来る2025大阪関西万博を見据えて

来る2025大阪：関西万博を見据え、イベントの認知度をさらに高め、参加したいと考える企業やイベント来場者を増やしていく。

また、世界に向けても「こうばはまちのエンターテインメント」というムーブメントを広げていくとともに、中小企業のものづくり技術・技能を地域ブランドとして確立させ、海外に発信していく。これらを通じて、こうば・まちで活躍し、持続可能な社会・経済システムづくりへの貢献に繋げていきたい。

TEAM EXPO 2025 共創チャレンジ登録

「FactorISM」実行委員会は、こうばをまちで働くくつろぐ、それぞれの個性が光るまちを、ものづくりのまちのエンターテインメントに決定に決定し、創り出すまちづくりを、ものづくりを軸にしたエンターテインメントにする「モノづくりエンターテインメント」を実現します。

INNOVATION

障壁を超えた、新たなコラボレーションへの「刺激」

FactorISMは2020年開始以降、開催地域、参加企業数が年々拡大している。参加した企業からは、「新設地の企業の方と知り合う機会がなく、FactorISMを通じて知り合った他社のオープンファクトリーも見学できた」「スタッフが試行錯誤して取り組んだこともあり、成長に繋がった」といった声や、「イベントをきっかけに、他社のおもしろい企業を知ることができた。コラボ企画にも挑戦したい」のように新たな取り組みに向けて、モチベーションを高めている。

また、参加企業同士の交流に止まらず、「こうばのどんでん」FactorISM in 近鉄電車、「無境会 in 大阪府立中之島図書館」の実現など、外部機関とのコラボレーションも増えている。

FactorISMは単なるイベントではなく、コミュニティである。年に一度の「FactorISM アトツギたちの文化祭」だけでなく、通年で様々なものづくり体験プログラムを開発するとともに、大企業や民間機関とのコラボレーション、地域を結ぶネットワーク構築、大学生の職業観の醸成など、まちの未来を創造する活動へと進化を続けている。

事務局連絡先

FactorISM 実行委員会

〒581-0832 大阪府八尾市西9-2-10 3F 303号

TEL 072-020-7128（直通）06-6454-6250

email mach@onkusha.jp

ONE TEAM

仕掛け人

MATSUO YASUHI
松尾 泰貴 氏
・株式会社友安製作所
・ソーシャルデザイン部部長 執行役員
・FactorISM 総経理プロデューサー

元八尾市議員。「みせるばやち」の立ち上げに尽力。ものづくりのまちである八尾を広く知ってもらうと、子どもたちにもものづくりの楽しさを伝えるワークショップや、企業間の交流を促進するためのイベントなどを実施している。地方公務員ワード2019を受賞。現在、友安製作所にてまちづくり事業を立ち上げ、民間人としてもまちづくりに貢献中！

仕掛け人と企画・運営を担う中核的存在

FactorISM 実行委員会事務局（まものこうばうぶ）

事務局も事務局も兼ねるメンバーが、「まちのこうばエンターテインメント」を合言葉に、世界に誇る日本のものづくりを五感で体験、体感してもらう文化祭のようなイベントである。3日目となる2022年は「無境」をテーマに、参加企業と地域が連携して開催された。なお、FactorISM（ファクトリズム）は、Factory＝こうば、ISM＝土壌・土質、Tourism＝観光を組み合わせた造語である。

実行委員長 太田 泰道 氏
株式会社友安製作所

副委員長 友安 哲則 氏
株式会社友安製作所

理事 藤田 謙一 氏
株式会社友安製作所

顧問 一瀬 隆樹 氏
株式会社友安製作所

顧問 八尾 隆雄 氏
株式会社友安製作所

顧問 近鉄 弘隆 氏
株式会社友安製作所

取り組みを支える舞台陣

山田 麻也 氏
株式会社友安製作所
代表取締役社長

野村 龍仁 氏
株式会社友安製作所
企画・デザイン・制作

寺田 昌樹 氏
株式会社友安製作所
広報・デザイン・制作

ともにあゆむ

SPECIAL THANKS

株式会社近鉄商會
ヤマト運輸株式会社
株式会社友安製作所
株式会社友安製作所
株式会社友安製作所
株式会社友安製作所
株式会社友安製作所
株式会社友安製作所

TRIGGER & STORY

誕生秘話

開催エリアとなっている八尾市には「みせるばやち」、門真市には「もりかど産業支援ネットワーク」、堺市には「さかいセカンドスタートアップ」というそれぞれの事業を通して市民参加型当事者と地域企業との関係性が構築されており、当該市役所担当者達が繋ぎ手となって結ばれたのがFactorISM。市、町、区、市役所担当者達は近畿経済産業局への出向経験を通して繋がりを有している。

そして、お互いの地域で活動する企業の可視化とエリアを越えた交流を促進するため「オープンファクトリー」という切り口で支援方法を考え、役所の垣根を超えた広域の実行委員会が立ち上がり、現在の礎となっている。

TOPICS

FactorISMのシンボルデザイン

FactorISMのシンボルデザインは、イベントのサブテーマ「アトツギたちの文化祭」の「アトツギ」に由来したものである。アトツギたちはリレーのバトンを渡された人と受け、バトンを使ったシンボルで表現している。FactorISMのロゴにある5つのシンボルは、5種類のバトンであるとともに、人の五感を表している。「音の魔法」、「味の世界」、「手であつた魔法」、「知性」、「匂い」をイメージし、これらが毎年の共通テーマとなっている。参加企業が毎年テーマのとおと、それぞれの個性を表現・発信することで、イベント全体の統一感を生み出している。



（写真）工場見学・ワークショップ開催の様子

・近畿経済産業局の取組（可視化）

2025年度においても

OPEN FACTORYREPORT

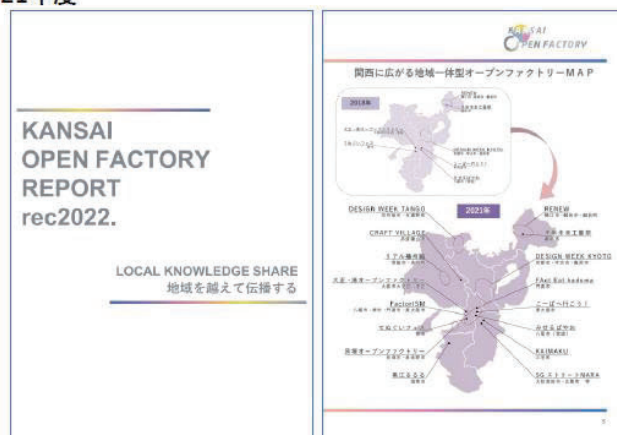
Beyond EXPO を作成予定

2020年度



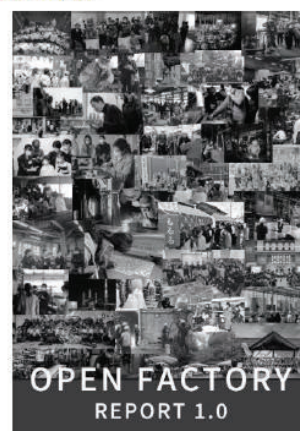
KANSAI OPENFACTORY REPORT rec2021.
作り手が躍動する関西のサードプレイス

2021年度



KANSAI OPENFACTORY REPORT rec2022.
LOCAL KNOWLEDGE SHARE 地域を越えて伝播する

2022年度



OPEN FACTORY REPORT 1.0(令和4年度)＜全国版＞



2023年度



OPEN FACTORY REPORT 2.0(令和5年度)＜全国版＞



・近畿経済産業局の取組（活性化）

関西オープンファクトリーフォーラムの継続実施

034 (2025年9月11日)	はじめる勇気と続ける意義
033 (2025年7月3日)	「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を丹後から
032 (2025年2月19日)	オープンファクトリーの魅力と産業ツーリズムの可能性
031 (2025年1月20日)	オープンファクトリー時の注意点～魅せるための転ばぬ先のつえ～
030 (2024年10月25日)	万博会場だけでなく、まちの至るところで地域がチャンスをつかむ
029 (2024年10月12日)	オープンファクトリーからみる よしのウッドフェスの未来
028 (2024年10月5日)	オープンファクトリーとコラボが創るコウバの未来
027 (2024年9月27日)	地域産業の未来を拓こう
026 (2024年8月17日)	地域間連携による相乗効果と新たな価値創出
025 (2024年8月5日)	大学×オープンファクトリーの可能性
024 (2024年7月30日)	起こせ。地域イノベーション。「見せる」ことで「魅せる」企業の新たな価値創造
023 (2024年5月17日)	オープンファクトリーセミナー
022 (2024年4月25日)	万博×オープンファクトリー
021 (2024年3月8日)	MICE×MaaSからイノベーションへ
020 (2024年3月5日)	万博とオープンファクトリーの可能性
019 (2023年12月20日)	「拡張性」を活かした多角的イノベーションの可能性
018 (2023年12月7日)	基礎自治体だけじゃない！支援機関の関わり方も探ろう！

017 (2023年10月26日)	「エリア」を活かした多角的イノベーションの可能性
016 (2023年8月27日)	「ものづくり」を活かした多角的イノベーションの可能性
015 (2023年7月18日)	オープンファクトリーに対する自治体の関わり方を「探る」
014 (2023年3月13日)	地域一体型OF×EXPO2025大阪・関西万博の可能性
013 (2023年2月21日)	取組が生み出す内発的変化の意義と力
012 (2022年11月3日)	地域の”響奏”が、ものづくりの未来を”共創”する
011 (2022年10月28日)	触発を生み出す”オープンファクトリー”
010 (2022年9月12日)	交流と共に地域を振り返る”手段”としてのオープンファクトリーの可能性
009 (2022年2月15日)	地域を超えて伝播する
008 (2022年1月25日)	”五感”に訴える”ものづくり”
007 (2021年10月21日)	産業集積地のリーディングカンパニーが引き出す地域ポテンシャルの可能性
006 (2021年10月7日)	“共創”する地域産業が織りなす“サードプレイス”の可能性
005 (2021年9月27日)	オープンファクトリーがもたらす効果
004 (2021年3月11日)	作り手が躍動する関西のサードプレイス
003 (2020年12月10日)	”ホンモノを伝える”オープンファクトリーの有用性
002 (2020年2月22日)	それぞれのまちのトガリと”地域×地域”で広がる交流
001 (2019年8月29日)	企業を見せれば人が育つ？！ 100社100通りのオープンファクトリーを考えよう

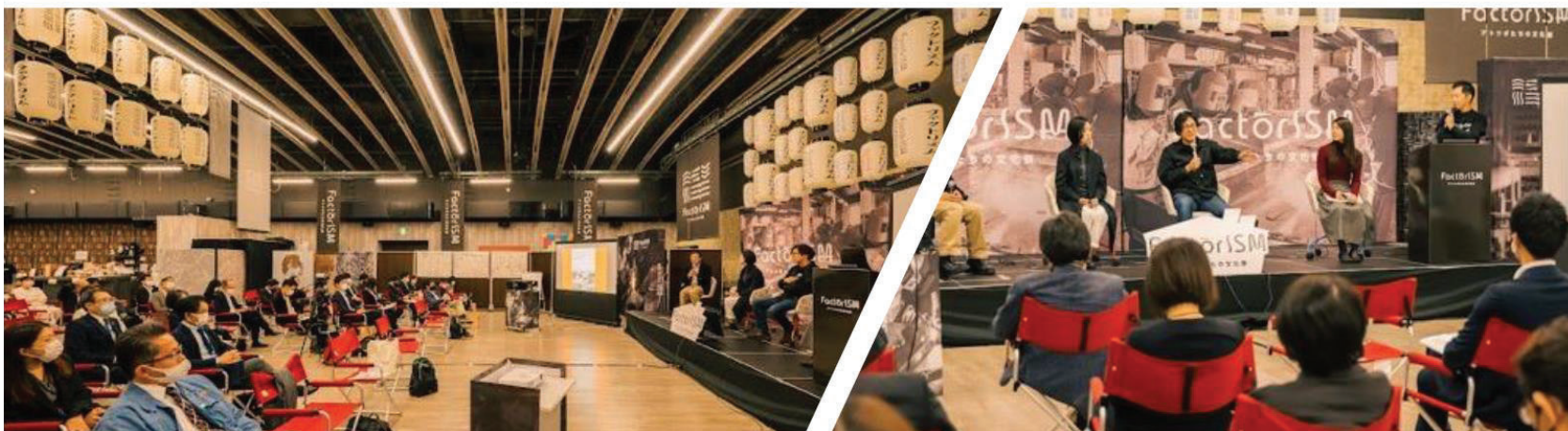
約6年間、計34回に渡って、各地のプレイヤー同士が交わるフォーラムイベントを開催

・近畿経済産業局の取組（活性化）

関西オープンファクトリーフォーラムの継続実施



<右上写真>
左側から
・台東モノマチ
・関の工場参観日
・FactorISM



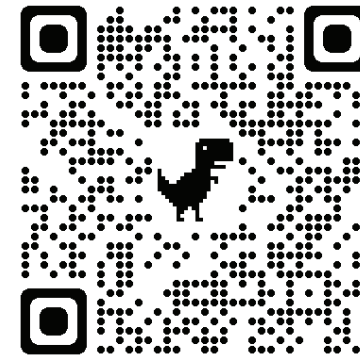
<右下写真>
中心右側女性
・経済産業省
博覧会推進室

<左下写真> 毎回、会場規模にもよるが30～100名程度の聴講者が参加。
鉄道会社、旅行会社、メーカー、支援機関、後の各地のキープレイヤーが交わる機会となっている。

伝播

伝播

大阪府（MOBIO）「オープンファクトリーとは」を伝える動画作成

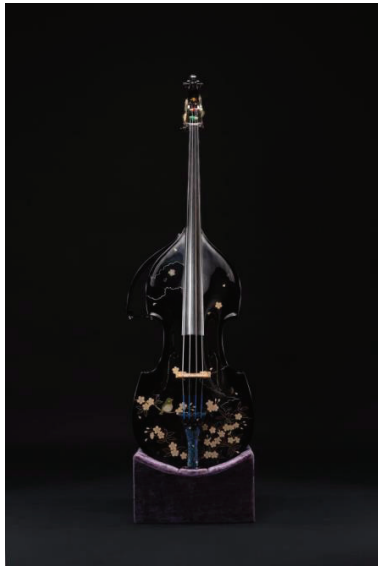


MOBIO HPより引用 https://youtu.be/MD28WN_nZ0Y

※MOBIO（モビオ）は、大阪府と（公財）大阪産業局が運営する府内ものづくり中小企業の総合支援拠点です。

伝播

参加企業同士のコラボレーションの誕生や、人材採用など



DESIGN WEEK KYOTO HPより引用



こーばへ行こう！
HPより引用



RENEW
HPより引用



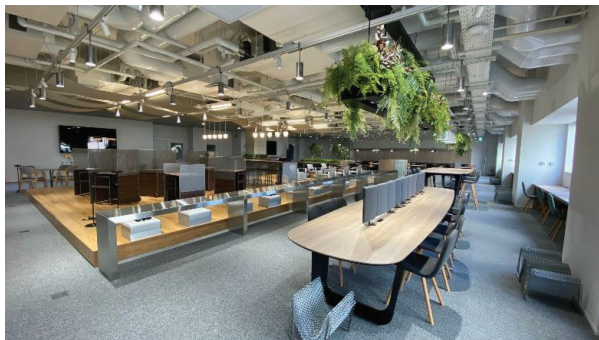
株式会社友安製作所
HPより引用

伝播

様々な外部企業等との連携が次々と誕生している



近畿日本鉄道株式会社 株式会社みせるばやお アットプレスより引用
<https://www.atpress.ne.jp/news/353181>



株式会社盛光SCM HPより引用



株式会社アーバンリサーチ PRTIMESより引用
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000836.000003710.html>

伝播

様々な外部企業等との連携が次々と誕生している



Knowledge Capital オープンファクトリーで全国から10団体が参集

KNOWLEDGE CAPITAL OPEN FACTORY

ナレッジキャピタルと近畿経済産業局による「新しいモノづくり」を応援するイベントです。
全国各地で盛り上がりを見せる「地域一体型オープンファクトリー」。今注目オープンファクトリー10団体から42社、
新たな視点でモノづくりに挑む7つのクリエイティブユニット、技術と感性を掛け合わせモノづくりを実践する
ナレッジキャピタル参画者から11者、全60団体が出展し、こだわりの「モノ」の展示販売、ワークショップを実施します。

※オープンファクトリーとは？
モノづくり企業が地域の拠点とともに生産設備や技術、商品を出展したり、来場者にモノづくりを体験してもらったりするイベント。

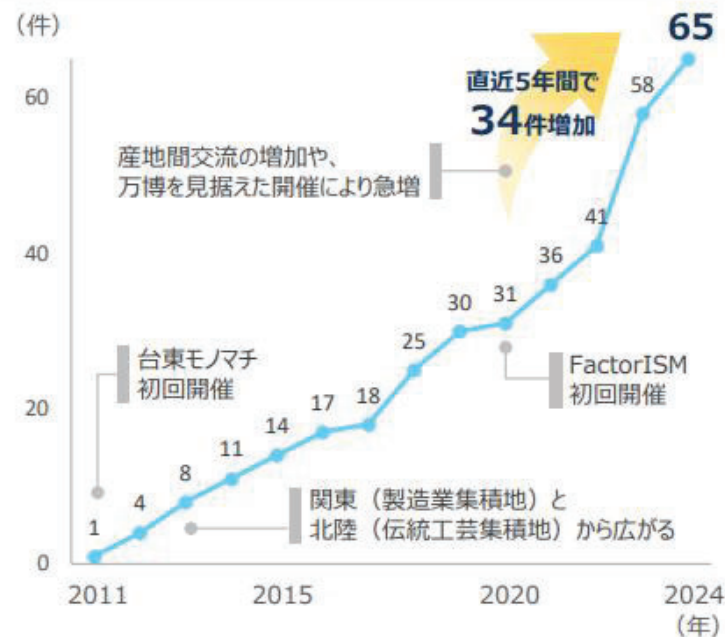
1 新潟県 KOUBA KOUBAは、「県三条市、工場（KOUBA）の敷地にある」モノづくりを体験する団体です。「モノづくり」の魅力を伝えるだけでなく、地元（三条市）の産業を中心に、年間を通して三条市のモノづくりを支援します。当団体の運営のもと、2023年10月26日（木）～29日（日）の4日間、「KOUBA」が開催されます。	2 富山県 市場街 2023年9月16日（土）～18日（月・祝）期間のまちで、クラフトやアートに出会って、触れて、体験できる3日間。「職人の技」「まちの人と文化」「地元グルメ」に触れることができるコンテンツをたっぷりご用意しています！高岡の職人や町人との交流をお楽しみください。	3 福井県 RENEW 「来た人、ものづくりのまちへ」 福井県鯖江市・越前市・福井市で開催される持続可能な地域づくりを推進したイベント。
4 愛知県・岐阜県 ひつじサミット尾州 ウール生産の産地「尾州（びゅう）」で、工場見学やワークショップ、ショッピングや美味しい飲食などを通して「持続可能性」を体感できるのが「ひつじサミット尾州」です。	5 三重県 ひまわり 「本場のこもの」を知り、内外に伝えていくことで主体的に町に関わる人や、ものづくりに関わろうとする人たを育てること。それがこもろくです。2023年10月28日（土）～29日（日） 富野町体育センターで開催！	6 大阪府 FactorISM 「こもろく」のエンターテインメントを合言葉に、人々の生活を豊かに、世界を魅了するモノづくりを体験できる八尾市、堺市、門真市などで開催されるイベント。今年は8社が参画し2023年10月26日（木）～29日（日）、11月2日（木）～4日（土）（例年通り）に開催！
7 兵庫県 開工神戸 多様な文化や産業を積極的に取り入れてきた清洲神戸ならではのオープンファクトリーを目指し、企業・クリエイター・学生など多様なプレイヤーが業種や立場を超えて活躍するコミュニティ。	8 奈良県 SG NARA 20年以上人口減、高齢化率38%、名目GDPは47都道府県で最下位。歴史ある「奈良」の再興を目指す立場・世代の枠を取り払った公共福祉プロジェクト。	9 和歌山県 和歌山ものづくり文化祭 「ものづくりの未来を創る、体験と学び」 和歌山県北部の製造業が一堂に集い各社の技術とその場で体験しあえる、モノづくり企業がつくる集合型オープンファクトリー。2023年12月2日（土）～3日（日）和歌山県ホールにて開催！
10 佐賀県 NEXTRAD 伊万里・有田焼の多様な多様な窯元の目録公開していない製造現場が見学できるファクトリーツアー。各窯元の得意技術など窯元のモノづくりを自ら手取り説明いたします。2023年11月17日（金）～18日（土）イベント開催予定！	11 クリエイティブユニット 地域のモノづくり企業とコラボレーションを行う「アーバンリサーチ JAPAN MADE PROJECT」やWebメディア「Begin NEWS」が手がけるニトブランド、今話題のぬいぐるみプロジェクトなど、新たな視点でモノづくりに挑むクリエイティブユニットが参集。	12 ナレッジキャピタル ハイブリッド車や電気自動車などの先端技術を始め、産学連携による女子大生のアイデア商品など、ナレッジキャピタルで活動するモノづくり企業や大学が出展。

Section II -2.全国における動向

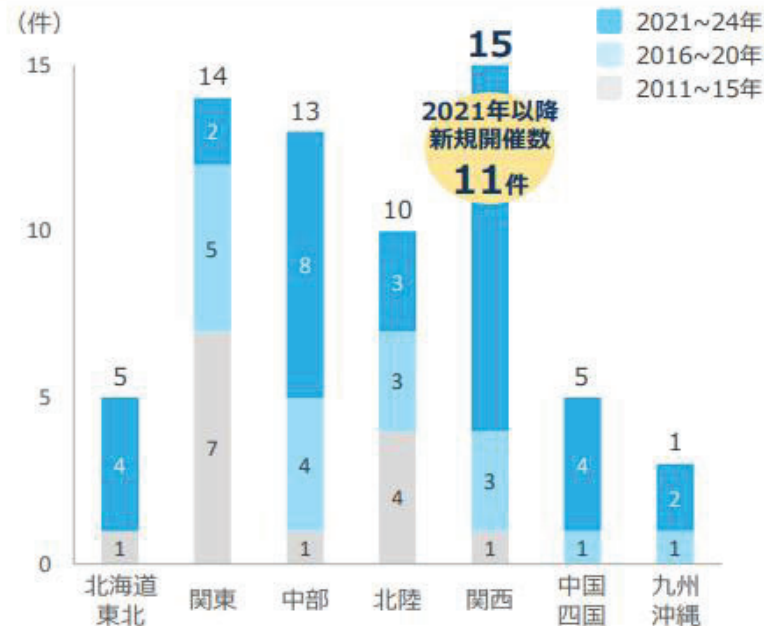
各地に広がる地域一体型オープンファクトリー

- 2011年、「台東モノマチ」（東京）を皮切りに、**製造業集積地**の関東圏や**伝統工芸**が盛んな北陸から、先行事例の影響を受けた近隣地域へ徐々に広がり、2024年には**全国で65件**が開催された。
- エリア別では**関西圏が15件と最も多く**、2025年の**大阪・関西万博との相乗効果**を狙って、「FactorISM（ファクトリズム）」（大阪）を筆頭に、2021年以降11件が新規開催した。

地域一体型オープンファクトリーの累積開催数の推移※1



エリア別初回開催年別地域一体型オープンファクトリー開催数※2



出所：各種公表資料を基にDBJ作成

※1：2024年に開催された地域一体型オープンファクトリーについて、初回開催年別の累積開催数を算出

※2：2024年に開催された地域一体型オープンファクトリーについて算出



10

<https://www.dbj.jp/upload/investigate/docs/249ab959bba08afcdb49d887cdf03a7d.pdf>

引用：日本政策投資銀行 地域一体型オープンファクトリーの可能性 ～地場産業の新たなビジネスチャンスの創出と持続可能な発展～ より引用

万博×オープンファクトリーについて



「Co-Design Challenge 2024」のコンセプト

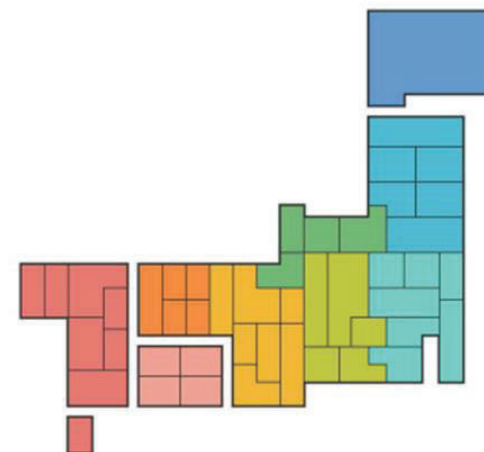


大阪・関西万博を契機に、日本全国それぞれの土地で
これからの日本の暮らし（まち）をつくる

夢洲会場



全国のものづくり産地



相互誘客



「Co-Design Challenge 2024」の提案条件

詳細についてはP.25を参照のこと



1. これから新たに“開発”を行う物品・サービスであること
2. 複数の企業・団体が協力して開発に取り組むことが望ましい（複数の企業・団体で応募することが望ましい。採択後に「TEAM EXPO 2025」プログラム（※1）への登録を必須とする）
3. デザイナー/クリエイターが参加すること
4. 応募者に中小企業（※2）が含まれること
5. 応募者は、つくり手が工場や工房の製造現場を公開し、来場者にもものづくりを体感してもらう取組（オープンファクトリー）を行っている／行おうとしていること
6. 大阪・関西万博会会期中に、製造現場の見学を含むものづくり体験企画（商品）による地域への誘客に取り組むこと（地域の関係者と連携した旅行商品とすることが望ましい）

※ 体験企画は、高付加価値な旅行商品を掲載する協会公式ポータルサイト「Expo 2025 Official Experiential Travel Guides（※3）」への登録を想定しています。（登録には別途申請し基準を満たす必要があります）

※ 製造現場の見学のみのもものづくり体験企画は対象外です。

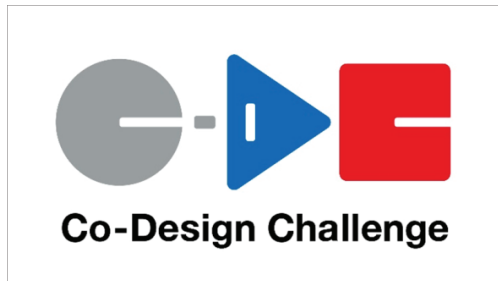
※1 「TEAM EXPO 2025」プログラムについては以下を参照のこと

<https://team.expo2025.or.jp/>

※2 詳細はP.29を参照のこと

※3 詳細はP.30参照のこと

Co Design Challenge2024



<https://youtu.be/6UgxEITVzeY>



Co-Design Challenge

“Co-Design Challenge” Product MAP

フューチャーライフヴィレッジ Future Life Village

- 古着や古布から作ったベンチ
Bench Made of used clothing and old cloth
- ごみから作るサステナブルなヘルメット
Sustainable Helmets
- 宇宙ロケット廃材でつくるベンチ
Bench made of space rocket scrap
- 災害廃材を利用したサインスタンド
Sign stands made by utilizing disaster waste
- 未利用木竹材を活用したごみ箱
Trash cans by utilizing wood and bamboo
- 古紙から生まれる展示台
Exhibition stands made from recycled paper
- 北海道産木材の椅子
Chairs Made of Hokkaido Wood

- 廃棄貝殻から生まれたベンチ
Sustainable Bench
- 陶製テーブルスツール
Ceramic table stools
- 思い出が持続するスツール
Stools filled with memories
- 歩留まり99%の椅子
Chairs made from a single board
- 端材と廃材を活用したスツールとテーブル
Stools and tables made from scraps
- 額縁のように美しいものになじむスツール
Stools in harmony with scenery



JP



EN

SectionⅢ-1.大阪・関西万博を基点とした地域一体型オープンファクトリーの可能性

次のステップへの模索

- これまで紹介した事例を含めて、地域一体型オープンファクトリーは、開催を重ねる中で、地場産業の認知度向上や産業観光、そしてBtoC事業振興などの効果を地場企業や産地にもたらしてきた。一方で、コンテンツのワンパターン化やBtoB事業の経済的効果の頭打ちが見られ、次のステップに向けた展開を模索する分岐点にいる。
- 特に関西地域では、万博との相乗効果を期待する産地が多く、万博開催をピークに地域一体型オープンファクトリーへの期待や関心の低下が懸念される（シナリオ2）。関西地域に限らず万博の好機を捉え、地場産業活性化の鍵となる、新規取引成約や新規事業創出などのBtoB事業の経済的効果につながる取組が求められる（シナリオ1）。

地域一体型オープンファクトリーの変遷と展望

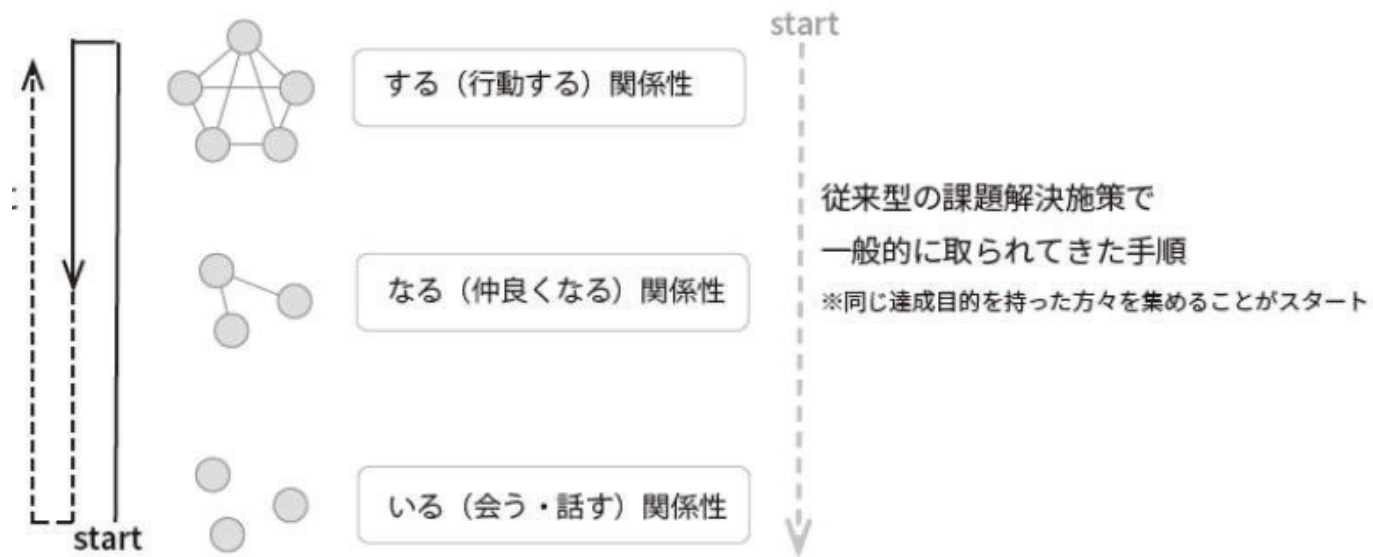


近畿経済産業局独自事業
LOCAL X STAGE実証事業

出所：各種ヒアリングを基にDBJ作成



DBJレポートより引用：<https://www.dbj.jp/upload/investigate/docs/781dbbfc2b91ebc1b967cb450c9c532d.pdf>



近年、各地で様々な課題解決を体現しているキーパーソンの事例を紐解くと、従来のような課題解決自体を目的として集まった（**集められた**）集合体ではなく、「**会いたい人**」や「**話したい人**」が集まりコミュニティが形成され、その上で特定の目標を持って行動するという特徴が見受けられた。

	従来型産業クラスター (コンソーシアム型産業集積)	次代の産業クラスター (コミュニティ型産業集積)
始まり	目的	理念
目指す先	結果	ありたい姿
不確実性への対応	不向き	向いている
既存施策の活用	使いやすい	使いにくい

Local X のアプローチはこちら

Local X STAGE

2024.11.28 THU

「コミュニティ・キャピタル」の可能性

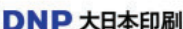
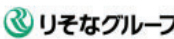
13:00-16:30

ご協力いただく地域の大企業等

- 株式会社アーバンリサーチ
- 株式会社オカムラ
- 一般社団法人関西イノベーションセンター
- QUINTBRIDGE (NTT西日本)
- 大日本印刷株式会社
- 一般社団法人ナレッジキャピタル
- フクシマガリレイ株式会社
- 三井住友海上火災保険株式会社
- 吉本興業株式会社
- リそなグループ



三井住友海上



登壇コミュニティの概要

1.

CRASSO

「東讃リベンジャーズ〜いざ、ものづくりの聖地・瀬戸内へ〜」

国内唯一の「手袋の産地」香川県の東讃地域。100年を超える歴史で培われた縫製技術は手袋だけでなくバッグや革小物など様々な商品に形を変えて受け継がれています。その技術や想いに触れるCRASSOは農業や飲食など他業種を巻き込み、エリアを拡大しながら地域全体を観光コンテンツとするファクトリーツーリズムに成長しています。受賞アワード等: 第1回東かがわ市未来アワード ナイス! トライ! 部門受賞

2.

JAPAN CRAFT EXPO 日本工芸産地博覧会

「工芸を旅の目的地に」

産地の一番星企業が集う日本工芸産地協会。JAPAN CRAFT EXPOでは「工芸と産地この体験が今と未来をつなぐ」を合言葉に、日本全国からの参加企業110社と3万人の来場者が、人、もの、技、土地を相互に感じ合いました。工芸の次の100年をみつめるべく、2025大阪関西万博に出展します。

3.

ひつじサミット尾州

「ひつじのようなふわりとした関係が産地の未来を紡ぐ」

ウール(羊毛)は「天然のエココン」とも呼ばれる機能性を持ち、環境負荷の少ないサステナブルな素材です。ひつじサミット尾州はウール生地の世界三大産地「尾州(びしゅう)」の地で、繊維工場のオープンファクトリーを中心にショッピング、グルメなどを通して作り手と使い手を繋ぐサステナブルエンターテインメントです。受賞アワード等: POTLUCK AWARD2024準グランプリ (2024)、第10回織研天然繊維特別賞 (2023)

4.

フィッシャーマン・ジャパングループ

「日本の水産業を持続可能な新3K産業に！」

東日本大震災を機に三陸の漁師と魚屋が集結し設立した漁業団体。「水産業を新3K(カッコよく、稼げて、革新的な)に変える」を理念に掲げ、全国で漁師育成、新規事業開発、海洋環境保全等に取り組む。海洋保全型インパクトファンドや海と科学を繋げる研究所を設立し、多様なステークホルダーと持続可能な水産業を目指す。受賞アワード等: The Japan Times Satoyama & ESG Awards Satoyama部門 優秀賞 (2020)、日本クリエイション大賞 (2021)

5.

みせるばやお

「競争ではなく、共創して地域課題を希望に変えるみせるばやお」

みせるばやおは、多彩な「ものづくりワークショップ」を通じて地域貢献を行うと同時に、ものづくりの魅力、企業の魅力を発信していく共創コミュニティ。139社が協働で場の運営を行い、中小企業1社ではできないスペースやヒト、リソース、データをシェアリング。その中でお互いを理解・信頼し、交流を深めて地域の未来を創造する活動を展開。受賞アワード等: 令和元年度ふるさとづくり大賞 団体表彰 (総務大臣表彰) 総務省主催「令和元年度ふるさとづくり大賞 団体表彰 (総務大臣表彰)」

6.

RENEW

「越前鯖江で起きている小さな産業革命」

RENEW (リニュー) は、福井県鯖江市、越前市、越前町で毎年10月に開催される、日本最大級のオープンファクトリーイベントです。半径10kmに集積する7つの地場産業の工房を開放するイベントです。RENEWをきっかけに作り手たちが意識を変え、商品開発、雇用観光など地域活性化に大きく貢献しています。受賞アワード等: 国土交通省地域づくり表彰 国土交通大臣賞(最高賞)、総務省ふるさとづくり大賞団体表彰 総務大臣賞



<イベントに参加した関西地域の大企業等>

- 株式会社アーバンリサーチ
- 株式会社オカムラ
- 一般社団法人関西イノベーションセンター
- QUINTBRIDGE (NTT西日本)
- 大日本印刷株式会社
- 一般社団法人ナレッジキャピタル
- フクシマガリレイ株式会社
- 三井住友海上火災保険株式会社
- 吉本興業株式会社
- リそなグループ

<授与した産業コミュニティ>

- 全6つの産業コミュニティ
- CRASSO、フィッシャーマン・ジャパングループ
- JAPAN CRAFT EXPO 日本工芸産地博覧会、RENEW
- フィッシャーマン・ジャパングループ
- フィッシャーマン・ジャパングループ
- CRASSO
- フィッシャーマン・ジャパングループ
- みせるばやお
- みせるばやお
- ひつじサミット尾州、みせるばやお